

総合的な学習の時間学習指導案

単元名：見つめよう！ぼくたちふるさと調査隊 ～ ふるさとづくりプロジェクト 元気・笑顔 ～

指導者 呉市立和庄小学校 部谷 友紀

- 1 日時 令和3年9月22日（水）
2 場所 第6学年1組教室
3 学年 第6学年1組 男子20名 女18名 計38名
4 単元名 「見つめよう！ぼくたちふるさと調査隊」
～ ふるさとづくりプロジェクト 元気・笑顔 ～

(1) 単元観

○本単元は、本質的な問い「わたしたちは、地域とどうかかわり、どう生きるのか」を基に構成している。問題解決のために行う共通体験や友達との交流を通して、中学校区で育成すべき資質・能力として設定している【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・積極性】を育成することをねらいとしている。

○本校は、地域の方々の協力の下、共に活動する行事が全学年に位置付けられている。職員室前に花を生けてくださったり、新型コロナ感染症予防のために児童一人一人に手作りのマスクを準備してくださったりする地域の方々がいる。また、「サルビアの会」の方々が児童の登下校を見守ってくださるなど地域の方々の支援を得られる恵まれた環境にある。

○本単元では、地域の方々からの支援や協力が得られる強みを生かし、自分達が住んでいる地域の人・もの・ことについて問題解決のために計画を立てたり、必要な情報を収集し分析したりすることで、地域との関わりを考えたり、自分の生き方を見つめ直したりすることが期待できる。

(2) 児童観

○本学級の児童は、1年生の時には「むかしあそび」を教わったり、3年生の時には「ありがとうの会」を開催して地域の方々への感謝の気持ちを伝えたりしている。また、5年生の時には砂防ダム見学の引率をしてもらったり、感染予防のための手作りマスクをいただいたりしている。地域の方々との交流の際には、感謝の気持ちを伝えることはできるが、主体的に地域の一人として何か取り組みをしようとする児童は少ない。

○本学級の児童に行った意識調査によると、「自分の考えを理由付けて相手に伝えている」72%、「課題に対して自分から進んで取り組んでいる」75%、「学習で設定した目標を継続して取り組んでいる」83%という回答結果であった。

○「地域の行事に参加したことがある、または、地域にどのような行事があるのかを知っている」と回答した児童は54%であった。また、昨年からの新型コロナ感染症予防の対策で減少している行事や人々との交流をどのように考えているかについてのアンケートに「悲しい」「さみしい」「コロナにかかる大変」「交流できないのは仕方ない」等と回答した。地域の行事に参加する児童が少なく、現状に対して自ら課題を設定し、継続的に取り組もうとする意識が低かった。

(3) 指導観

単元を通して、単元を貫く問い「わたしたちの『和庄地域』を笑顔で元気にするために自分達は何ができるだろうか。」について、情報収集したことを思考ツールを使って分類したり、自分と他者との考えの違いを分析したりする。また、児童の知識や考えがどのように変容していくのか、学習前・中・後に「和庄地域について」の振り返りを一枚のポートフォリオにまとめる。

単元の導入では、和庄地域のよさを「人・もの・こと」別にYチャートを使って出し合っていく。そこで、事象や目に見える形ばかりによさを感じていることを自覚させる。第1次では、自分達が地域との交流や関わりが少なくなっていると感じさせるが、単元を進めていくうちに、地域の方々は自分達のことを大切にしてくださっていることや、地域を大切に活動されている方々の存在に気づかせていく。第2次では、地域の方や保護者の方の願いを知り、感謝の気持ちを伝えることを計画し、川柳や看板づくりなどの活動に取り組む。第3次では、感謝の気持ちを伝えることができたという充実感を大切に、卒業前に自分達が地域のためにもっとできることはないか考えさせる。挨拶リレーや種まきをして次の学年にバトンをつなぐなどの活動に取り組むことや、これまでの取り組みをまとめた新聞・番組、カレンダーなど様々な方法で情報発信していくことを通して、和庄小学校の児童みんなにも感謝を伝え、和庄の良さを引き継いでいってほしいという思いを伝える。誰かの「笑顔」のために自分達にできることがあることを実感させ、継続して取り組み、やりきること達成感を味わえたい。感謝を伝えることだけでなく、地域や他学年から感謝されるといった経験を通して、自己肯定感を高め、社会に主体的に参画する態度を育成する。

5 単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

自分達が住んでいる地域のよさや、自分達の生活を支えている人々の思いや願いを理解し、地域の問題解決のために計画を立てたり、必要な情報を収集し分析したりすることを通して、地域とのかかわりを考えたり、自分の生き方を見つめ直したりすることができるようにする。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性
① 和庄のよさや改善点をアンケート等で情報収集している。 ② 自分達の生活を支えている人々について知り、どのような思いや願いがあるか情報を収集している。	① いろいろな人の思いや願いを知り、どのような方法で地域の人を笑顔にできるのか考えている。 ② 課題解決に向け、分類したり、関連付けしたりして、解決している。 ③ 収集した情報から、地域とのかかわりについて考えたり気付いたりしている。 ④ 自分の考えを分かりやすく伝えるために表現する方法を考えて相手に伝えている。 ⑤ 自分達が取り組んだ活動から大切にすべきことは何か交流している。	① つながりについて考え、自分が取り組みたいことを考え、継続的に活動しようとしている。 ② 振り返りを行い、自分の成長を実感したり、学んだことを生かしたりしようとしている。

6 単元の計画

次	時	学習内容	評価規準	他教科との関連
1	1	<p>課題設定 1</p> <p>○和庄地域のよさを, ひと・もの・ことの視点で話し合う。 ○よさだけでなく, もっとしたいことなども考える。</p>	<p>見つけ隊! みんなの笑顔「和庄の魅力」</p> <p>○和庄地域のよさを知り, 自分の課題を見付けている。【思考力・判断力・表現力①】 (ワークシート・行動観察)</p>	
	2			
		<p>単元課題: 見つけ隊! みんなの笑顔「和庄地域の魅力」</p>		
	3	<p>情報収集</p> <p>○保護者の考える和庄地域のよさを調べる。 ・どんなところが好きかな (場所) ・何が好きかな (行事・産物) ・地域のどんな人を知っているかな (人) ・もっと知りたいことやもっとしたいことはないのかな ○インタビュー・アンケートを実施する。 ・会えない人たちには, 代表の人にアンケートをお願いできるかな。 ・なにを質問するか考えよう。</p>	<p>○和庄のよさや改善点をアンケート等で情報収集している。 【知識・技能①】 (ワークシート・行動観察)</p>	<p>算数科 「資料の調べ方」</p> <p>国語科 「インタビューのメモを取ろう」</p>
	4 5 6			
	7	<p>整理・分析</p> <p>○収集した情報から, 学校・地域それぞれに分類し, キーワードを見つける。 ・地域の方は, 祭りや学校行事が少なくてさみしいようだ。 ・うちの人は, 参観日がなくて, 学校のことがよく分からないみたい。 ・新型コロナウイルス感染症予防のためかもしれない。 ○マスクをつくってもらったことを思い出し, 「つながっている」ことに気付く。 ・マスクだけでなく, 見守りもしてもらっている。 ・サルビアが咲いている。 ・砂防ダムについて行ってもらった。 ・参観日には時間をつくって観に来てくれた。 ・PTAの活動をされている。 ○行事は減っているが, 地域との関わりはなくなっていないことに気付く。</p> <p>キーワード「つながり」「かかわり」</p>	<p>○収集した情報から, 自分達が考える和庄地域のよさと, 地域や保護者との考えの共通点や相違点を見つけている。 【思考力・判断力・表現力③】 (ワークシート・行動観察)</p>	<p>国語科 「防災ポスターを作ろう」</p>
	8			
	9			
	10			
	11 (本時)			

2	<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <p>12 ○本当に地域とのつながりが減っている 13 のか考えをまとめる。 14 15</p>	<p>○自分の考えを分かりやすく伝えるために表現する方法を考えて相手に伝えている。【思考力・判断力・表現力④】 (ワークシート・行動観察)</p>	
	<p style="text-align: center;">課題設定 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">知り隊！和庄地域に暮らす人々の思い</div> <p>16 ○自分達で調べたことから、さらに和庄の 17 町を元気にするためにできることを考える。</p> <p style="text-align: center;">情報収集</p> <p>18 ○地域やおうちの人々の願いや考えを調べる。 19 20 ○自治会の方にアンケートやインタビューをお願いする。 ・地域の方は、ぼくたちにどんなことを期待しているのかな。 ・おうちの方は、どんなことが知りたいのかな。 ・わたしたちのために活動している人たちは、どんな思いをもっているのかな。 ・地域のために活動している人たちは、どんな思いがあるのかな。</p>	<p>○いろいろな人の思いや願いを知り、どのような方法で地域の人を笑顔にできるのか考えている。【思考力・判断力・表現力①】 (ワークシート・行動観察)</p> <p>○自分達の生活を支えている人々について知り、どのような思いや願いがあるか情報を収集している。【知識・技能②】 (ワークシート・行動観察)</p>	
<p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>21 ○新聞やパンフレットにまとめて整理する。 22 23</p>	<p>○課題解決に向け、分類したり、関連付けしたりして、解決している。【思考力・判断力・表現力②】 (ワークシート・行動観察)</p>		
<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <p>24 ○「感謝」を形にして伝える。 25 ・手紙を書こう 26 ・看板を書こう ・作った新聞を配りたい ・学習発表会「感謝の気持ち届けよう伝えよう発表」</p>	<p>○これまでの活動で分かったことや振り返りをまとめ、学んだことを生かそうとしている。【主体性・積極性②】 (ワークシート・行動観察)</p>		

課題設定 3

広げ隊！笑顔プロジェクト「和庄を元気に」

27 ○自分達ができる地域の魅力を広げる活
28 動について考える。

○自分達が続けてきた活動を広
げていけるように、継続して
課題に取り組もうとしている。
【主体性・積極性①】
(ワークシート・行動観察)

整理・分析

29 ○誰にどんな方法で情報を発信するか整
30 理する。
31

○どのような方法で地域の人や
おうちの人を笑顔にできるの
か考えることができる。
【思考力・判断力・表現力①】
(ワークシート・行動観察)

まとめ・創造・表現

32 ○地域のために取り組んだことから、「大
33 切にすべきこと」は何か考え、まとめる。
34 ・地域とのつながりが減っているように
感じていたけれど、地域のために取り組
み続けている人々がいてくれること
を知ることができた。
・地域の一人として、考えたことを実際に
取り組んだことが成長になった。
・これからも和庄を大切にしていきたい。
・もっと多くの人に知ってほしい。
・自分達の町を大切に思っているのは、き
っと他の地域の人たちも同じだろうな。
○各グループでプレゼンを作成し、発表す
る。
・まつりカレンダー
・和庄地域写真集
・番組
・あいさつりレー
・花の種まき

○自分達が取り組んだ活動から
大切にすべきことは何か交流
している。【思考力・判断力・
表現力⑤】
(ワークシート・行動観察)

○自分の考えを分かりやすく伝
えるために表現する方法を考
えて相手に伝えることができ
る。【思考力・判断力・表現力
④】(行動観察)

35 ○これまでの活動を振り返り、自分の成長
やこれからの生活に生かしたいことを
まとめる。

○振り返りを行い、自分の成長
を実感したり、学んだことを
生かしたりしようとする。【主
体性・積極性②】
(振り返りシート・行動観察)

7 本時の展開

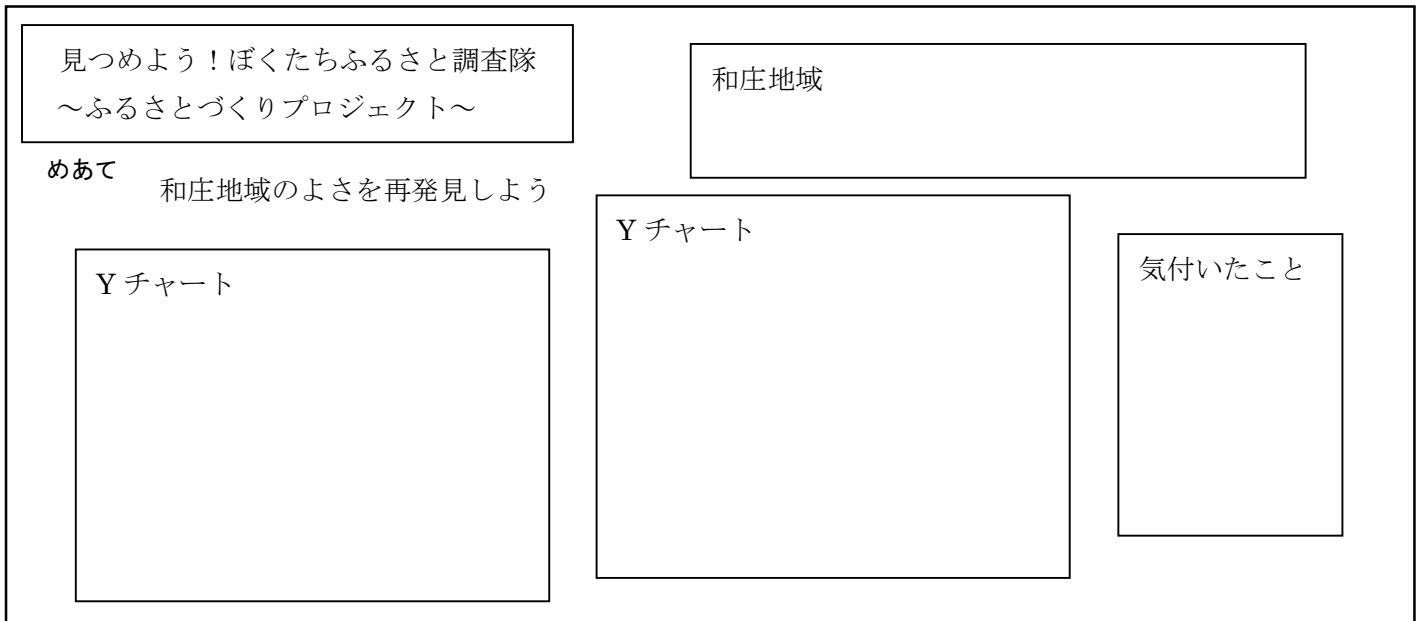
(1) 本時の目標 (本時 10 / 35 時間)

○収集した情報から、自分達が考える和庄地域のよさと、地域や保護者との考えの共通点や相違点を見つけ、自分達が気付かなかったことを話し合うことができる。【思考力・判断力・表現力③】

(2) 学習の展開

	学習活動	主な発問 (○) と 予想される児童の反応 (・)	●評価規準【観点】 (評価方法) ★指導上の留意点
導入	1 前時の活動を振り返る。	○みんなで和庄地域のよさをひと・もの・ことに分けて考えましたね。	★地域とのかかわりについて振り返らせる。
	2 本時のめあてを設定する。	○今日の課題について考えましょう。 ・アンケートの結果が知りたいです。	
	和庄地域のよさを再発見しよう！		
展開	3 話し合う。 ・個人 ・全体交流	○どんなよさが出てくるでしょう。 ・たぶん、自分たちと同じようなよさが出てくると思う。 ○どのツールを使うと、みんなの考えと比べやすいですか。 ・Yチャートを使う。 ○何か気付いたことがありますか。 和庄を元気にするために自分達にできることを考えましょう。 ・良いことばかりかと思っていたけど、さみしいとか残念とか出てきた。 ・私はあいさつをしていると思っていたけど、地域であいさつができていないことが分かったから、もっとみんながあいさつできるというなと思った。 ○地域の方のインタビューを見てみましょう。 地域の方と自分達、お家の方と同じこと、違うことはどこですか。	★キーワードや思考ツールの見本を提示し、結果をまとめるように支援する。 ★協力してもらった結果をロイロノートに取り込んでおき、提示する。 ★相違点に気付けるように声かけを行う。 ●収集した情報から、自分達が考える和庄地域のよさと、地域や保護者との考えの共通点や相違点を見つけている。【思考力・判断力・表現力③】(ワークシート・行動観察)
まとめ	4 本時を振り返り、次時につなげる。	○今日の振り返りをしましょう。「和庄地域」をキーワードにまとめましょう。 ・和庄地域についてもっと知りたくなった。 ・もしかすると、自分達が地域のためにできることがあるかもしれない。 ・もっと和庄地域のよさをみんなで広げていきたい。 ・和庄地域の人たちは、みんなを大切にしている。	★地域とのかかわりについて意識させ、自分からかかわりをもちたいと意欲をもたせる。

(3) 板書計画



8 成果と課題

知識・技能

- 本質的な問いを生かすにあたって、導入段階の第1次で、自分、保護者、地域の方々といった三者の視点から、和庄地域のよさや和庄地域への願いを考える活動を仕組むことで、自分だけの視点からではなく、複数の視点からよさや願いを調べ、共通点・相違点について、思考ツールを使って分析し、多角的に和庄地域について知ることができた。
- 地域には、支えてくださる人々や伝えていきたい伝統があることに気付くことができたが、どのようにして自分たちが関わっていけばよいのかについて、情報収集をすることに課題が残った。

思考力・判断力・表現力

- 第2次で地域の方の思いを知る学習活動を行った上で、第3次で自分たちにできることを行動に移していくことで、本質的な問い「わたしたちは、地域とどうかわり、どう生きるのか」について、自分事として多面的に、より深く考えることができた。
- 本質的な問いを考えることで、地域のよさだけではなく「地域のこれから」についても目を向ける児童が出てきた。高齢化に伴い、地域行事の担い手の減少等の後継者不足等の問題を考える中で、同じような課題のある地域はどのようにしているのか、世界的に見たら地域の課題にはどんなことがあるのかなど、自分達の地域のことを、日本全国や世界規模で思考したり、昔の事例を参考にしたりするなど、多様な視点で考えを広げたり深めたりすることにつながった。
- ICTや、思考ツールの活用等により、情報を収集したり、情報を取捨選択したりして、筋道を立てて考えることができていた。
- 情報収集したことについて比較をしたり関連づけたりする際に、明確な視点を示していなかったため、児童のみの思考で問題解決の道筋を考え出すことが難しかった。

主体性・積極性

- コロナ禍であっても、地域の方は変わらず、地域や学校を支えてくださっていることに気付き、感謝の気持ちをもつことができた。
- 「本質的な問い」について学習を振り返ることで、自分達にできることを考え、和庄地域に貢献したいという思いをもつことはできたが、実行に向けて必要とされる主体性・積極性が高まっていないため、次時へのつながりが弱かった。